

備前市 事務事業評価表

事務事業名	日生斎場維持管理事業	コード	01-01-16-02
		担当課・係	市民福祉課 環境衛生係
		担当者	原田 尚美
事業実施期間	昭和62年度～	電話	72-1104
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	火葬場・墓地	

事業について	
目的 (何のために)	斎場を適正に管理し、利用者の方に不快感をあたえず気持ちよく利用していただく。
対象 (誰・何を対象に)	斎場を利用する全ての市民・市外の利用者
内容	火葬を執行するために斎場・霊柩車等の維持管理を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
火葬執行	84.0 件	64.0 件	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	12,611	国庫補助金等		直接事業費	11,198	国庫補助金等	
	人件費	1,240	委託費負担	2,253	人件費	2,050	委託費負担	1,825
	合計	13,851	一般財源等	11,598	合計	13,248	一般財源等	11,423

必要人員	0.35 人	0.25 人	
結果指標名	火葬執行	火葬執行	
結果指標量	84	65	
単位	件	件	
対前年比	-	77.38%	0.00%
活動にかかるコスト	13,851,000 円	13,248,000 円	
単位当たりコスト	164,893 円	203,815 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	施設利用者の満足度		
成果指標名	火葬執行業務は、成果指標となる判断基準がないため。	式又は説明	事業費 / 日生地域世帯数 3,114 世帯
	17年度	18年度	
成果指標量	4,480	4,254	
対前年比	-	94.96%	0.00%
到達目標値	斎場運営コストの削減	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等：)	妥当性評価 < A ~ E > A 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	火葬執行については関係法令等に基づき適正に処理している。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 < A ~ E > C 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	斎場、待合棟が老朽化しており、維持管理費が高騰している。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 < A ~ E > C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	火葬執行については志望者の数により増減するため件数だけで判断するのは難しいが、施設利用者がある限り継続する必要がある。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 65	結果指標量

総合評価	施設の老朽化等により、施設の維持管理費は年々増加していくと思われる。現状では、コスト削減は難しい。使用料を統一する必要がある。	評価区分 < A ~ E > B
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性			
効率性			
有効性			